

Title	Jesuitsといふ言葉(其の二)
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1940
Jtitle	史学 Vol.19, No.3 (1940. 12) ,p.28(408)- 28(408)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19401200-0028

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

Jesuits といふ言葉 (其〇二)

英王ヘンリー四世は、議會とパリー大學から、この語の使用を禁ぜられたいと嘆願書を受けると、彼は肩をそびやかしてかういつた。「何故我々はそんなことに氣を採まねばならないか分らない。教會内には An Order of the Holy Trinity があり、又パリーには、自ら Gods daughters と呼ぶ尼僧の會もある。我々は何故 Company of Jesus に反対せねばならないか」と。

スペイン人は、この反対に遭つて恐らく驚いたであらう。何となれば Jesus なる言葉は、今日でも極く普通に何でもない所に使はれる、彼等はそれを子供の名にも與へ、又驚きや恐れ of 感謝詞としても用ひる。例へば、フランス語の “Mon dieu” といふが如くは、彼等何かにつけて、 Jesu Cristo! Jesu mille veces, Jesucristo, Dios mio! といふやうな表現をする。云々 (吉田小五郎キカムベルの「耶蘇會史」に依る。)